

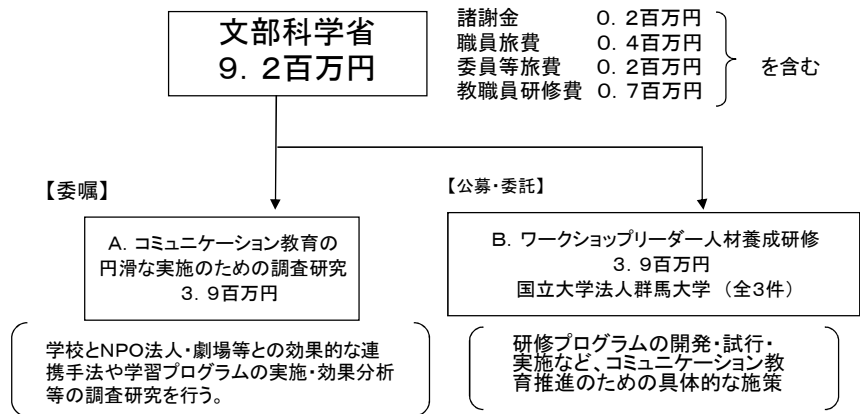
平成25年度行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	コミュニケーション教育推進のための検討		担当部局庁	初等中等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	事業開始年度：平成22年度 事業終了年度：未定		担当課室	教育課程課		教育課程課長 塩見みづ枝		
会計区分	一般会計		政策・施策名	確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり Ⅱ-1 確かな学力の育成				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計画、 通知等	教育振興基本計画(平成25年6月14日 閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	将来を担う子どもたちに、自己を確立しつつ、他者を受容し、多様な価値観を持つ人々と共に思考し、協力・協働しながら課題を解決し、新たな価値を生み出しながら社会に貢献する力を育てることを目指し、その基盤となるコミュニケーション能力を育成するための具体的な方策や普及の在り方について調査研究等を行う。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	子どもたちのコミュニケーション能力の育成を図るための具体的な方策や普及の在り方等について検討するため、コミュニケーション教育推進会議を開催するとともに、取組の成果等について情報提供を行うため、全国3箇所で開催する。 また、学校とNPO法人・劇場等との効果的な連携手法や学習プログラムの実施・効果分析等の調査研究、研修プログラムの開発・試行・実施などを都道府県教育委員会、国立大学法人やNPO法人等に委託して行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位：百万円)	予算の 状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	9.6	15.3	12.6	29.5	26.6	
		繰越し等	0.0	0.0	△ 0.2	0.0		
		計	9.6	15.3	12.4	29.5	26.6	
	執行額	4.2	10.9	9.2				
	執行率(%)	43.8%	71.2%	74.2%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	成果目標：子どもたちのコミュニケーション能力の向上に係る具体的方策の開発・普及 成果指標：本事業は、コミュニケーション能力の育成のための推進会議の設置による検討と、研修プログラムの開発・試行等を主な内容とするものであることから、定量的な成果指標を示すことは困難。		成果実績	—	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	コミュニケーション教育普及協議会～コミュニケーション教育フェスタ～開催回数		活動実績 (当初見込み)	回	1 (1)	3 (3)	3 (3)	— (3)
	人材養成研修の委託件数		活動実績 (当初見込み)	回	— (—)	3 (3)	3 (3)	— (3)
単位当たり コスト	446,969(円/開催回数)		算出根拠	X=24年度執行額：1,340千円 Y=開催回数：3回				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	1.7百万円	1.1百万円	積算単価の見直し等による減				
	職員旅費	1.1百万円	0.9百万円	積算単価の見直し等による減				
	委員等旅費	2.8百万円	2.1百万円	積算単価の見直し等による減				
	庁費	—	—					
	教職員研修費	1.1百万円	0.7百万円	事務経費の縮減や積算単価の見直しによる減				
	初等中等教育等振興事業委託費	22.8百万円	21.9百万円	委託単価の見直しによる減				
計	29.5百万円	26.6百万円						

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	第2期教育振興基本計画において、「コミュニケーション能力の育成を重視する」とされているところであり、我が国の児童生徒に学習指導要領等に基づき確かな学力を身に付けさせるため、国として行う優先度が高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募(企画競争)を実施しており、その妥当性や競争性を確保しているところ。不用が生じているのは、地方で開催しているコミュニケーション教育フェスタを共催で行うことができ、事務経費の削減が図られたことによる。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	活動実績は、見込みを超える申請が上がったが、審査委員会を経て見込数どおりの契約相手方と契約を結んだ。また、成果については、コミュニケーション教育フェスタにおいて好事例の共有を図るなどその普及に努めている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>本事業は、児童生徒に人間関係形成能力やコミュニケーション能力が育まれることを目的として行われており、これらの能力ははじめや引きこもりの問題への対策の一つとしても期待されている。また、本事業は、第2期教育振興基本計画や新学習指導要領の趣旨を実現するためにも重要な施策の一つであり、今後は本事業の更なる質の向上を図っていく必要がある。</p> <p>平成26年度においては、これまでの取組を踏まえつつ、一層の効果的、効率的な実施方策について検討して参りたい。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点:当該事業は、子どもたちのコミュニケーション能力の育成を図るため、「コミュニケーション教育推進会議」を設置し、学校教育におけるコミュニケーション教育の趣旨や意義について、コミュニケーション教育の推進方策についてなどを検討する事業であり、予算執行状況の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:この事業は、平成24年度決算において不用額が生じていることから、不用額が生じたより詳細な要因を分析した上で、予算執行の実績を適切に概算要求に反映すべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	<p>本事業は平成24年度、地方で開催しているコミュニケーション教育フェスタを共催で行うなど事務経費の削減により不用が生じた。平成25年度においても、積算の見直しを行うことなどにより経費の縮減を図ったところである。平成26年度概算要求においては、さらに全体として諸謝金等の事務経費の縮減や積算単価の見直し等を行い、概算要求において▲3百万円反映した。</p>					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0051	平成23年	0083	平成24年	0085

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 滋賀県教育委員会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	検討委員会謝金、ワークショップ講師謝金等	0.8百万円			
委員等旅費	検討委員会旅費、視察旅費等	0.3百万円			
教職員研修費	楽器運搬費、啓発用リーフレット等	0.3百万円			
計		1.4百万円	計		0
B. 国立大学法人群馬大学			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	ワークショップ講師謝金、実施補助者謝金等	0.7百万円			
旅費	ワークショップ講師旅費、実施補助者旅費等	0.7百万円			
借損料	研修会場資料料	0.1百万円			
その他	消耗品(付箋紙、模造紙)等	0.1百万円			
計		1.6百万円	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.コミュニケーション教育の円滑な実施のための調査研究

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	滋賀県教育委員会	コミュニケーション能力の育成に資する新しい学習プログラムを検討・作成	1.4百万円	企画競争	—
2	愛媛県教育委員会	コミュニケーション教育の推進のため、NPO法人等との効果的な連携手法の構築	1.3百万円	企画競争	—
3	神奈川県教育委員会	コミュニケーション能力等の育成を目指した効果的なワークショップのモデルプログラムの作成	1.2百万円	企画競争	—
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.ワークショップリーダー人材養成研修

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人群馬大学	「特別支援教育のためのワークショップの企画・コーディネート・運営」を行うための研修講座の実施	1.6百万円	企画競争	—
2	特定非営利法人アートNPOゼロダテ	ワークショップを用いた授業の企画・コーディネート・運営等の専門的知識を備えた人材を養成するための研修の実施	1.2百万円	企画競争	—
3	国立大学法人筑波大学	児童生徒のコミュニケーション能力の向上を目指し、ワークショップ学習プログラムの開発・実施	1.1百万円	企画競争	—
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					